



国立研究開発法人森林研究・整備機構

森林総合研究所林木育種センター



「未来への挑戦」

私たちは、豊かで多様な森林を育み、
その恵みを未来に引き継いでいくため、
林木育種を通じ、挑戦し続けます。

■ 林木育種センターの紹介

林木育種センターは、国立研究開発法人 森林研究・整備機構の一員であり、林木に関する国内最大の育種機関です。総勢約130名（うち一般職約85名、研究職約45名）の職員で、林業用樹木の品種改良や、優良品種の都道府県等への配布に加え、遺伝資源の保存（国内唯一の林木ジーンバンク）、森林バイオ分野の先端技術を使った育種技術の開発や海外技術協力などに取り組んでいます。

気候が多様な日本で、地域に適した林木の開発・増殖ができるよう、茨城県日立市の林木育種センターを中心に、全国4カ所の育種場（北海道、東北（岩手県）、関西（岡山県）、九州（熊本県））、さらには、奥羽（山形県）、長野（長野県）、四国（高知県）の増殖保存園、西表（沖縄県）の熱帯林育種技術園と、全国に拠点を置いて業務を進めています。

一般職員は、総務・会計・企画・広報など、デスクワーク中心の事務系業務を担当したり、温室や畑での苗木の育成・管理、山での樹木調査・集計・データ化、林木遺伝資源の収集・保存・評価、林木育種の海外技術協力など、フィールドワーク中心の技術系業務を担当することとなり、幅広い業務に携わります。



■ 事業紹介

・ 林木の新品種の開発と普及

林木育種事業は、山崩れの防止やCO₂の吸収、木材の生産など森林の多面的な機能を発揮させるため、優れた遺伝的特性を持つ品種を開発することを目的としています。

・ 遺伝資源の収集・保存・配布

林木遺伝資源は、科学技術の発展に伴い、ますます重要性が増大し、その利用が一層拡大するものと考えられています。一方、環境の変化や天然林の減少などにより、林木遺伝資源が量的、質的に減少傾向にあります。そのため、早急に林木遺伝資源の利用上の重要度や保存の必要性、優先度を勘案しつつ、多様な遺伝資源を探索・収集し、保存して後世へ継承するとともに、その利用をやすくするために、特性評価を進めています。

また、林木遺伝資源の保存や特性評価を進めるために必要な技術開発も進めており、さらに、試験研究用に林木遺伝資源の配布も行っています。

・ 海外に対する林木育種技術協力

熱帯産の早生樹種や乾燥に強い樹種、防風・防潮効果に優れた樹種などを対象に、優良クローンの増殖、採種（穂）園の管理などの技術の開発を行うほか、海外からの研修員の受け入れや海外協力プロジェクトへの専門家派遣などを通じた技術指導を行っています。特に、沖縄県西表島に設置した西表熱帯林育種技術園では、その亜熱帯環境を活用して、熱帯・亜熱帯の樹種に関する育種技術の開発、技術指導などを行っています。



● 育種部 原種課 Aさん (2年目)

・職歴

- R3.8.1 育種部原種課
原種生産係採用
- R4.4.1 長野増殖保存園
管理係
- R5.2 現在に至る



・仕事とやりがい

優れた品種のカラマツを育成し、自治体等への配布を行ったり、保存園内の整備や調査を行ったりしています。日々新しい業務に出会い、学んでいくことが楽しく、やりがいを感じています。

・印象に残った出来事

九州育種場で行われた一般職員等技術研修会に参加したことです。長野県から熊本県へ出張して、木の育成管理・増殖・生産技術を現地で学べたことや、様々な職員の方と交流が持てたことが印象に残っています。

・職場の雰囲気

上司の方や現場の方が優しく、明るい雰囲気なので仕事がしやすいです。良い方々に恵まれているなと思います。

①ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、現場打ち合わせ
- 9:00 場内巡視、設備補修
- 11:00 メール確認、事務作業
- 12:00 休憩(昼食)
- 13:00 データベースへの入力・登録
- 15:00 場内巡視、現場作業の進捗状況確認
- 16:30 現場打ち合わせ
- 17:15 業務終了



● 育種部 育種第二課 Bさん (3年目)

・職歴

- R3.2.1 遺伝資源部
遺伝資源管理係採用
- R4.4.1 育種部育種第二課
育種技術係
- R5.2 現在に至る



・仕事とやりがい

1年目は様々な樹種の種子や花粉の保存管理、2年目は従来の苗木よりも成長に優れたエリートツリーを開発する仕事に携わっています。複数の部署で働ける機会があり、その度に新しいことを学び自分自身の成長に繋がれることが大きなやりがいです。

・印象に残った出来事

世界自然遺産に登録されている小笠原諸島にて、絶滅の恐れがある樹種の保存に関わる仕事ができたことです。(左写真は私と小笠原諸島の固有種オガサワラグワ)

・職場の雰囲気

自分が感じた疑問に向き合ってくれる方が多く働きやすい職場です。昼休みに運動好きの同僚と行うサッカーが毎日の楽しみです☺

①ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 9:30 苗木の生育状況の確認と水やり
- 12:00 休憩(昼食)
- 13:00 会議の資料作成
- 15:00 調査道具のメンテナンス
- 17:15 業務終了



● 指導普及・海外協力部 西表熱帯林育種技術園 Cさん (3年目)

・職歴

- R2.4.1 育種部指導課
原種係採用
- R3.4.1 西表熱帯林育種技術園
熱帯林試験係
- R5.2 現在に至る



・仕事とやりがい

主に様々な亜熱帯樹種の増殖、保存の他、見学者用の展示林の整備などを行っています。また、西表島では業者が少ないため、施設や機械の修理なども私たち職員の仕事の1つです。

本州では見られない樹種の増殖など、貴重な体験をしながら自身の技術の向上もできることにとてもやりがいを感じています。

・印象に残った出来事

採用1年目でカラマツのつぎ木技術についてまとめ、オンライン会議で発表したこと。とても緊張したのを覚えています。

・職場の雰囲気

言いたいことを言える風通しの良い職場です。たまに冗談も言い合ったりして楽しく業務に取り組んでいます。

①ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、メール確認
- 9:00 試験木の樹高、直径調査(約100本)
- 12:00 休憩(昼食)
- 13:00 調査データ確認とデータベースへの入力
- 15:00 草刈り機の修理
- 16:30 苗木への水やり等
- 17:15 業務終了



北海道育種場
(北海道育種基本区)

東北育種場
(東北育種基本区)

奥羽増殖保存園

関西育種場
(関西育種基本区)

長野増殖保存園

林木育種センター
森林バイオ研究センター
(関東育種基本区)
森林総合研究所

四国増殖保存園

九州育種場
(九州育種基本区)

西表熱帯林育種技術園



● 林木育種センター
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3809-1
TEL 0294-39-7000
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/>
・ 長野増殖保存園
〒389-0201 長野県北佐久郡御代田町塩野字浅間山375
TEL 0267-22-1023
・ 西表熱帯林育種技術園
〒907-1432 沖縄県八重山郡竹富町古見地内
TEL 0980-85-5007

● 北海道育種場
〒069-0836 北海道江別市文京台緑町561-1
TEL 011-386-5087
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/hokuiku/>

● 東北育種場
〒020-0621 岩手県滝沢市大崎95
TEL 019-688-4518
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/touiku/>
・ 奥羽増殖保存園
〒999-3761 山形県東根市神町南2-1-1
TEL 0237-47-0219

● 関西育種場
〒709-4335 岡山県勝田郡勝央町植月中1043
TEL 0868-38-5138
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/kaniku/>
・ 四国増殖保存園
〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目417-1
TEL 0887-53-2471

● 九州育種場
〒861-1102 熊本県合志市須屋2320-5
TEL 096-242-3151
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/>



国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター

〒319-1301
茨城県日立市十王町伊師3809-1

(2023年2月作成)